

# 第196回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年7月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,711	0.89	1.65	4,125	1.47	1.25
東部地区	14,433	0.03	0.83	5,756	0.03	0.64
西部地区	10,559	-0.43	0.53	4,002	0.00	0.35
駅南地区	6,401	1.66	2.31	2,783	3.18	2.92
半田地区	3,666	1.10	1.52	1,393	1.38	1.97
横山地区	5,703	0.63	0.99	1,958	3.10	1.87
茨目・田尻地区	7,012	0.30	0.38	2,410	1.30	0.41
荒浜地区	5,088	-0.25	1.27	2,028	-0.63	0.49
その他地区	20,028	-1.83	0.19	7,179	-0.04	0.32
西山町地区	6,173	-0.56	0.08	2,156	0.88	0.09
高柳町地区	1,790	-2.61	0.16	818	-0.96	0.12
柏崎市計	90,564	-0.24	0.81	34,608	0.73	0.84
刈羽村	4,866	-0.14	0.30	1,572	-0.25	0.31
小国地区（長岡市）	6,089	-1.29	0.31	2,136	1.08	0.89
出雲崎町	5,005	-1.72	-0.11	1,814	0.49	0.22
合計	106,524	-0.37	0.71	40,130	0.70	0.79

（資料出所：柏崎市、各市町村）

外国人住民も「住民基本台帳法」が適用されたため、今回から世帯数・人口について外国人住民を含んだ数を掲載しております。なお、対前年同月比は平成25年6月分まで、前月比は今月分が外国人を含まない数との対比となっております。前年同月比では柏崎市で224人、0.24％、刈羽村で7人、0.14％、小国地区（長岡市）で80人、1.29％、出雲崎町で88人、1.72％とそれぞれ減少し、全体では399人、0.37％の減少となっている。また、前月比においては、出雲崎町で6人、0.11％減少しているが柏崎市で728人、0.81％、刈羽村で15人、0.30％小国地区で19人、0.31％、増加しており、全体では756人、0.71％増加している。

一方、世帯数は、前年同月比では刈羽村で4世帯、0.25％、減少したが、柏崎市で252世帯、0.73％、小国地区で23世帯、1.08％、出雲崎町で9世帯、0.49％増加したことから、全体では280世帯、0.70％の増加となった。また、前月比においては、柏崎市で290世帯、0.84％、刈羽村で5世帯、0.31％、小国地区で19世帯、0.89％、出雲崎町で4世帯0.22％増加した結果、全体では318世帯、0.79％増加している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,371		19.11		-3.78	
月間有効求職者	1,950		-13.25		-7.71	
月間有効求人倍率	0.70	0.85	0.19*	0.18*	0.03*	-0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,371人と前年同月比で220人、19.11％の増加となり、前月比では54人、3.78％減少している。

月間有効求職者数は、1,950人と前年同月比で298人、13.25％減少し、前月比では163人、7.71％減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.70倍と前年同月比で0.19ポイント、前月比では0.03ポイント上回っている。なお、県平均0.85倍と比べると0.15ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が551人と前年同月比で22人、4.15％の増加、月間新規求職者数が463人と前年同月比で47人、9.22％減少した結果、月間新規求人倍率は1.19倍となり、前年同月の1.04倍に比べて0.15ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成24年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	39	-2	-3	137	-2
共 同 住 宅	2	2	0	17	12
事 務 所	0	0	-1	3	0
作 業 所・工 場	0	-1	0	2	-5
営 業 建 物	3	2	0	8	-2
公 共 建 物	0	0	-1	1	1
そ の 他	10	2	-5	65	23
合 計	54	3	-10	233	27

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が54件と前年同月比で3件増加し、前月比では10件の減少となっている。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比で2件の減少となり前月比でも3件減少している。共同住宅は前年同月比で2件増加したが、前月比では増減なしとなっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が43件となっており、また一般住宅(併用)39件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が16件(うち新築9件)、市外施工業者が23件(うち新築23件)となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,438	0.00	0.01	15,384	-5.08	-0.41
電 力	10,345	-2.81	-0.20	41,141	1.24	8.25

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で6口、0.00%増加し、前月比でも、13口、0.01%増加している。一方、電力においては、前年同月比で300口、2.81%減少し、前月比でも21口、0.20%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で825kwh、5.08%減少し、前月比でも、64kwh、0.41%減少している。一方、電力においては、前年同月比で504kwh、1.24%増加し、前月比でも、3,137kwh、8.25%の増加となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	824,246	1.76	-23.37	674,339	-2.72	-4.48
営 業 用	217,282	-2.03	28.81	116,370	-2.79	-1.26
工 場 用	802,632	-3.59	11.97	137,493	-2.94	5.71
官 公 学 校 用	324,209	-24.70	61.78	89,112	-12.11	5.78
そ の 他				149	148.33	-5.69
合 計	2,168,369	-5.51	0.31	1,017,463	-3.65	-2.00

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で126,555m<sup>3</sup>、5.51%減少したが、前月比では6,746m<sup>3</sup>、0.31%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用、工場用、営業用で減少しており、前月比では家庭用で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で38,624m<sup>3</sup>、3.65%の減少となり、前月比でも20,843m<sup>3</sup>、2.00%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、その他を除くすべての用途で減少しており前月比では家庭用、営業用、その他で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	104,948	5.14	18.65	110,541	5.90	19.64
西 山	46,841	8.49	15.13	44,411	7.31	20.28
米 山	27,241	6.77	33.50	25,392	6.13	32.51
合 計	179,030	6.25	19.72	180,344	6.27	21.46

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で10,536台、6.25%増加しており、前月比でも29,494台、19.72%と大幅に増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で10,654台、6.27%増加し、前月比で31,870台、21.46%と大幅な増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比で、入口・出口ともにすべてのインターで増加し、前月比でも、すべてのインター入り口・出口で大幅に増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	359,545	-1.30	-1.85	145,969	-1.67	-1.02
平 残	366,217	0.51	-0.21	145,238	-1.89	0.02

預金は、末残が前年同月比で4,740百万円、1.30%減少し、前月比でも、6,785百万円、1.85%減少している。また、平残においては、前年同月比で1,888百万円、0.51%増加したが、前月比では776百万円、0.21%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,493百万円、1.67%の減少となり、前月比でも1,518百万円、1.02%減少している。平残においては、前年同月比で2,804百万円、1.89%減少し、前月比では、35百万円、0.02%の増加となった。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	33,076	28.50	41.81
交 換 金 額	25,455	83.02	81.75
不 渡 り 手 形 枚 数	31	1,450.00	933.33
不 渡 り 手 形 金 額	12	7,435.89	712.43

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で7,336枚、28.50%増加し、前月比でも9,752枚、41.81%増加している。また、交換金額においては前年同月比で11,547百万円、83.02%増加しており、前月比でも11,450百万円、81.75%増加となっている。なお、不渡手形は31枚、12百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産10件（前年同月11件、前月4件）、負債総額17億円（同63億円、同13億円）となっている。地区別では、新潟市が4件で、佐渡市で1件、南蒲原郡で1件、魚沼市で1件、上越市で1件、妙高市で1件、糸魚川市で1件発生している。業種別は、建設業3件、製造業1件、卸売業1件、小売業1件、サービス業が4件となっており、倒産原因は、販売不振が9件、売掛金回収難が1件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で1件の減少となり、負債総額は46億円の減少となっている。前月比では件数は6件増加し、負債総額は4億円増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

倒産件数は前月比6件増の10件となり、今年では2月と並び最多となっている。5ヶ月連続で負債総額10億円以上の大型倒産は発生していないものの、小規模企業の倒産を中心に倒産件数は高水準で推移している。円高の継続、中国経済の失速、消費税増税問題などから景気回復の見通しは不透明な状態が続いている。